



令和元年度 学校だより

伏見板橋後期

学校評価号

令和2年3月2日
京都市立伏見板橋小学校
校長 藤田 路乃
TEL 075-611-5158
FAX 075-611-5290
mail : itahashi-s@edu.city.kyoto.jp



「よりよい学校をつくるための学校評価」を行いました。お忙しい中、保護者・地域の皆様にはご協力いただき、感謝申し上げます。

今回、子ども・保護者・地域・教職員のアンケート項目を同じ内容について、それぞれの立場からのご意見を集約することができました。この結果を教職員一同で共通理解し、新たに大きな改革期を迎える来年度に向けて改善を図っていきたいと思います。

	「学校教育目標」 夢をもち、自らの未来を創る 子どもの育成 ～考え 判断し 実行できる子～					よく出来ている					大体出来ている					あまり出来ていない					出来ていない					
	低学年	高学年	保護者	地域	教職員	低学年	高学年	保護者	地域	教職員	低学年	高学年	保護者	地域	教職員	低学年	高学年	保護者	地域	教職員	低学年	高学年	保護者	地域	教職員	
1	学校教育目標『夢をもち 自らの未来を創る 子どもの育成～考え 判断し 実行できる子～』をご存じですか。	46%	42%	20%	14%	42%	32%	39%	50%	86%	58%	15%	14%	24%	0%	0%	7%	5%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
2	子どもたちは、この目標に向かって頑張ろうとしていますか。	59%	24%	9%	0%	16%	30%	41%	61%	100%	79%	8%	29%	27%	0%	5%	4%	6%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
3	子どもたちは、進んで家庭学習に取り組んでいますか。	55%	40%	27%	17%	41%	31%	37%	46%	67%	53%	10%	17%	22%	17%	6%	4%	5%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
4	子どもたちは、家庭学習が大切だと思いますか。	82%	65%	24%	17%	35%	12%	26%	47%	67%	62%	5%	7%	25%	17%	3%	1%	2%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
5	子どもたちは、読書が好きですか。	63%	52%	32%	0%	41%	26%	24%	37%	83%	47%	7%	16%	23%	17%	12%	4%	8%	7%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
6	子どもたちは、本や人に聞いたり、インターネットで調べたりして調べ学習をしていますか。	63%	44%	26%	0%	14%	23%	34%	49%	83%	81%	10%	19%	21%	17%	6%	4%	3%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
7	学校や地域は子どもたちが調べ学習をする環境が整っていますか。	60%	57%	21%	0%	29%	26%	36%	65%	100%	71%	10%	6%	14%	0%	0%	4%	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
8	子どもたちは学校で習っていることが理解できていますか。	69%	58%	25%	17%	6%	25%	36%	63%	83%	94%	5%	6%	11%	0%	0%	1%	0%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
9	学校は、子どもたちが学習を理解できるように取組を進めていますか。	72%	43%	26%	17%	19%	22%	36%	64%	83%	81%	5%	18%	10%	0%	0%	2%	3%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
10	子どもたちは、家庭で友だちのことをよく話しますか。	57%	61%	34%	20%	31%	29%	22%	48%	80%	69%	12%	14%	16%	0%	0%	3%	3%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
11	子どもたちの友だち関係は良好ですか。	79%	75%	40%	29%	14%	17%	21%	54%	71%	86%	3%	4%	5%	0%	0%	1%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
12	友だちを思いやる心や大切にする態度は見られますか。	63%	52%	41%	43%	33%	30%	41%	53%	43%	62%	5%	6%	6%	14%	5%	1%	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
13	高齢者や困っている人を見かけると、声かけや何らかの手助けをしようとしていますか。	38%	22%	16%	0%	5%	31%	40%	45%	71%	79%	23%	29%	32%	29%	16%	8%	9%	7%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
14	心優しい子に育てるために、各家庭では声かけや話などをされていますか。	38%	27%	24%	17%		28%	37%	63%	83%		22%	27%	13%	0%		12%	9%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
15	子どもたちは、学校で心優しい子に育つために、学んでいますか	65%	66%	25%	29%	29%	22%	30%	68%	57%	66%	10%	3%	7%	14%	5%	3%	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
16	子どもたちは、朝ごはんをしっかり食べていますか。	85%	79%	64%	50%	44%	11%	14%	29%	33%	44%	3%	6%	6%	17%	12%	1%	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
17	子どもたちに早寝・早起きの習慣はついていますか。	38%	30%	32%	33%	6%	39%	34%	37%	50%	68%	17%	26%	25%	17%	26%	5%	11%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
18	防災・防犯・交通安全等についてご家庭で決まりがあったり、実際に訓練的なことをしたりされてますか。	25%	19%	12%	29%		29%	32%	46%	29%		26%	31%	36%	43%		21%	18%	6%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
19	子どもたちが安全に注意し、健康に育つように、家庭で具体的な取組をされていますか。	79%	72%	19%	14%		18%	24%	60%	71%		3%	3%	19%	14%		0%	1%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
20	子どもたちは学校で、健康教育や安全教育、防犯教育を学べていますか。	74%	71%	21%	33%	36%	17%	27%	71%	50%	64%	8%	2%	7%	17%	0%	1%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

学習面について

- 『4 家庭学習が大切だと思いますか。』については、「よく出来ている」「大体出来ている」の項目を合わせると低学年94%、高学年91%に対し、保護者71%と親子で家庭学習に関する認識の違いが20%以上ありました。それに対し、『3 進んで家庭学習に取り組んでいますか。』については、「よく出来ている」「大体出来ている」の項目を合わせると低学年86%、高学年77%、保護者73%と、子どもたちは家庭学習の大切さは認識しているが、実際の取り組みになると低学年で8%、高学年で14%となりました。今後、学校としては家庭学習に実際に取り組むことが必要だと感じることができる課題を提供したり、自主的な学習に結びつけていくように取り組みたいと思います。
- 8・9の『学習理解』に関する項目で、低学年・保護者は前期同様ほぼ差が無いか、高学年が「よく出来ている」「大体出来ている」の項目を合わせると15%もの差があります。
- 8・9の『学習理解』に関する項目で、低学年・保護者は前期同様ほぼ差が無いか、高学年が「よく出来ている」「大体出来ている」の項目を合わせると15%もの差があります。
- 平成30年度・令和元年度と2年間、国立教育政策研究所の指定を受けて伏見中学校ブロックで小中連携して、学校図書館を充実させ、図書館活用の授業に取り組んできました。その成果もあり、調べ学習の意識が高まっています。

生活面について

- 『11 子どもたちの友達関係は良好か』については、「よく出来ている」「大体出来ている」を合わせると低学年・高学年ともに96%、保護者の方も94%と高い数値でした。地域の方も100%となっています。多くの子どもが友だとの繋がりによって、学校生活が楽しく、充実したものとなっているようです。そのことが、『12 友だちを思いやる心や大切にする態度は見られますか。』の子ども・保護者とも90%以上の高い数値につながっているのだと思います。しかし、11・12のどちらも、子ども・保護者の3~6%の児童・保護者が否定的な割合を示していることを忘れずに、今後も子どもの困りに寄り添い、全ての子どもたちを支える教育活動を大事にしていきたいと思います。
- 『15 学校で心優しい子に育つために、学んでいますか』については、子ども・保護者とも9割前後の肯定的な回答をしていただいている。しかし、子どもの「心の教育」は学校だけで進むものではありません。保護者の方との連携を密にし、家庭と学校・地域との教育の輪を大事にしていきたいと思います。子どもの良い「心の教育」につなげるためにも、ご家庭でも具体的な声かけや話をしていただきますようよろしくお願いします。

健康面について

- 『16 朝ごはんをしっかり食べているか』については、「よく出来ている」「大体出来ている」を合わせると子ども・保護者ともに90%以上数値でした。ただ、10歳未満の児童が朝食をしっかり食べれていないということも明確になりました。子どもの学校生活の大半は午前中にあります。1日の学校生活を元気に過ごすためにも、朝食はきちんととることを目指していきたいと思います。
- 『17 早寝・早起きの習慣』については、「よく出来ている」が低学年38%、高学年は30%でした。「大体出来ている」は低学年39%、高学年34%で、合わせても低学年は70%台越えますか、高学年は60%台という前期を大きく下回る結果になりました。保護者・教職員ともやはり数値が低いです。本年度、インフルエンザ等による欠席児童が例年になく増加している原因の1つなのかもしれません。体のリズムをつくる上でも大切なことです。地域・保護者・学校がさらに連携して子どもたちに『早寝・早起き・朝ごはん』の大切さを啓発していく必要があると考えられます。
- 『20 健康教育や安全教育、防犯教育を学べていますか。』については、「よく出来ている」「大体出来ている」を合わせると、児童・保護者・教職員ともに9割を超ました。近年特に自然災害等が多い中、学校でも避難訓練をはじめ、重点的に取り組んでいる課題です。意識付けにつながっていたら幸いです。

